

## 3密を避け、授業の遅れを取り戻しながら

## 「主体的・対話的で深い学び」へ向かう工夫

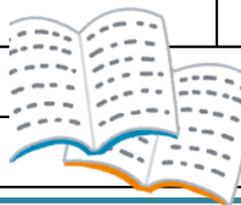
### 学級活動(3)

【題材】 家庭学習の充実を目指して(1時間扱い) (3)ア

【学年】 中学1年または中学2年

#### 【育成を目指す資質・能力】

〔知識及び技能〕	〔思考力, 判断力, 表現力等〕
社会の中で自分の役割を果たしながら, 自分らしい生き方を実現していくことの意義や, 現在の学習と将来の社会・職業生活とのつながりを考えるために, 必要な知識及び技能が身に付いている。	現在の自己の学習と将来の生き方や進路についての課題を見だし, 主体的に学習に取り組み, 働くことや社会に貢献することについて, 自己の将来について, 適切な情報を得ながら考え, 自己の将来像を描くことができる。



段階	学習活動	留意点
つかむ	<p>問題の発見・確認 (事前)</p> <p>自分の家庭学習を振り返る (時間, 内容, 取組方法等)</p>	<p><b>家庭学習を振り返り, 共通に解決すべき課題を意識化する場面</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☞家庭学習で使用している問題集やノートを見返す場面をつくる。</li> <li>☞家庭学習を充実させるにはどうしたらいいか課題をつかむ。</li> </ul>
さぐる	<p>解決方法の話合い (本時)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・帰宅してから就寝までの時間の使い方を振り返る</li> <li>・<b>自分の家庭学習の工夫を付箋に書き出す</b></li> <li>・<b>付箋に書かれた友だちの工夫を眺める</b></li> <li>・気になる工夫について詳しく聞く</li> </ul>	<p><b>自分の家庭学習の課題をつかみ, 解決方法を探る場面</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☞就寝までの時間をどのように活用しているかに気づく。</li> <li>☞家庭学習の工夫を書き出すことで, 自己の学びのよさに気づく。</li> <li>☞<b>友だちの家庭学習の工夫を見る場面を設定する。</b></li> <li>☞友だちの家庭学習の工夫やアドバイスをもとにして, 自分の家庭学習に取り入れたいことや目標について具体的に意思決定する。</li> </ul>
見つける	<p>解決方法の決定</p>	<p><b>家庭での実践 → 振り返り → 実践の継続</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☞自分の家庭学習の目標に合わせて実践をする。</li> <li>☞「家庭学習充実カード」に取組の様子を一週間ほど記録し, 主体的に家庭学習に励むよう促す。</li> <li>☞教師は, 目標に向かって努力している姿を価値付け, 一人一人の頑張りを認め合う。実際に取り組んだノートなどを紹介する。</li> </ul>
きめる	<p>決めたことの実践 (事後)</p>	
実践する	<p>振り返り</p> 	



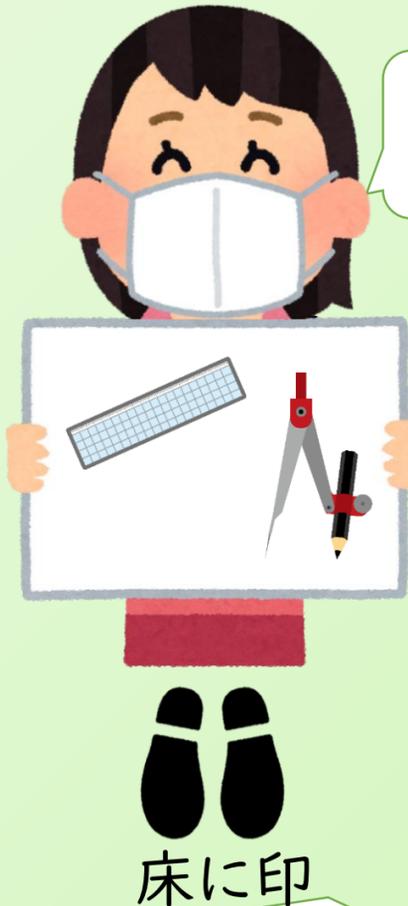
個人の「意思決定」を図る学級活動(3)では, 話し合い活動を据えることを基本としますので, 3密が起りやすくなります。そこで, 付箋やホワイトボード等を活用することで「思考の見える化」を図り, 友だちとの対話が生まれる工夫をしていくことがポイントになります。

# 3密を避け、授業の遅れを取り戻しながら 「主体的・対話的で深い学び」へ向かう工夫

## 外国語活動 外国語科

## 外国語活動・外国語の 対話的な学びの工夫を考えましょう

小4 外国語活動 Unit5 Do you have a pen? P.21  
Let's play 2「文房具セットを作って、友達に伝える」場面で



I have a ruler.  
Do you want the ruler?



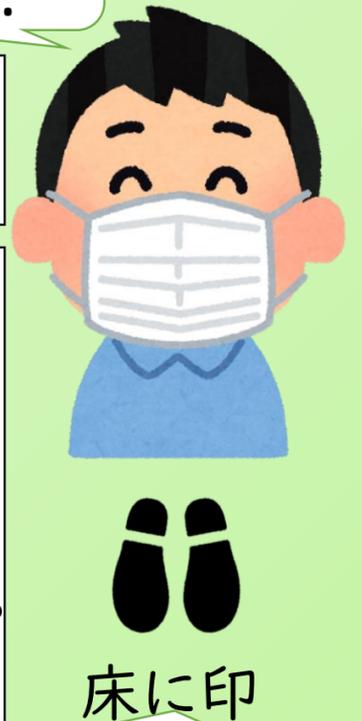
Yes. Thank you.  
I like math.

### ルール

・床のしるしに立ってやりとりする。

### ホワイトボードを利用する

- ・事前に、離れた友達に見えるように大きく絵を描く。その絵をもとにやりとりする。
- ・先生は、やりとりの様子をタブレット等で撮影し全体共有する。感想を付箋で交換する。
- ・道具の使いまわしはしない。



Oh. Do you want  
a compass, too?

対話によって、お互いについて気付きが生まれると学びが深まりますね。

Yes. Thank you.  
I study math every day.

## 2メートル

### 外国語活動・小学校外国語

その他の单元でも

### 中学校外国語

#### 小3 外国語活動Unit3

「Let's play ~How many apples?~」  
・友達の持っているリンゴの数を尋ね合う場面で

#### 小6 外国語

「オリジナルの料理を作って紹介し合う場面」

#### 中1 外国語

「道案内で、地図を書いて」大きく描いて距離を取る

#### 中3 外国語

「討論をするときに自分の立場を書き示し明確にする」など

## どの教科でも使えるアイデア紹介

### ホワイトボードの作り方

- ・A3用紙をラミネートします。
- ・裏に方眼を印刷しておけば算数などでも使えます。
- ※ラミネートした後、角がとがっている場合は、丸くカットする。

### 環境

- ・マスクをしっかりと着用する。
- ・熱中症予防の水筒を持つ。
- ・晴れの日には、外で2メートルの間隔をとる。
- ・校舎内であれば、いくつかの教室に分けて密をさける。
- ・床に印をつけて距離を保つ。

### その他

やり取りの活動に必要な、紹介するものを決めたり、使う道具を準備していたりすることなどは、事前に家庭で取り組んでおくことですぐに活動ができます。

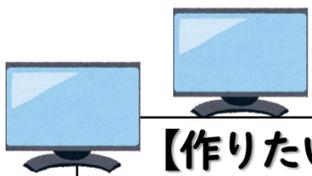
# 3密を避け、授業の遅れを取り戻しながら 「主体的・対話的で深い学び」へ向かう工夫

## 特別支援教育

「願い」と「よさ」を共有し、  
学びの手ごたえを実感できるように

### 生活単元学習「七夕まつりをしよう」

※ **3** : 3密を避ける工夫につながる内容 **授** : 授業の遅れを取り戻す工夫につながる内容



#### 【作りたいもののイメージを膨らませる】

子どもが実際の笹や七夕飾りの画像、七夕祭りの様子を**複数の機器を使って動画で視聴**する中で、これからの活動でみんなでやりたいことのイメージがふくらみます。

**3**



楽しいことをみんなで  
やりたいな

#### 【願いをもち、共有する】

子どもが自分の願いを**ミニホワイトボード**に書けるようにします。距離があっても考えが共有できるようにし、「この中でみんなですることを決めよう」と提案し、多様な願いを認め、子どもの期待がふくらむようにします。

**3**

#### 【分担を決めて“工場”で活動する】

子どもが距離を保ちながら活動できる場（“工場”）を子どもと相談しながら決めて、準備や制作を進めます。子どもがそれぞれの場所で**自分のペース**で「自分で」「自分から」活動できるような場と環境を設定していきます。

**3**

**授**



#### 【「七夕まつり」を楽しむ】

調理活動に代わり、子どもたちが買い物してきたおやつから食べたいものを選ぶ「**おやつバイキング**」が考えられます。他にも、**屋外や体育館**での活動、**大きめの道具**を介したリレーゲーム、離れていても子どもたちが関わり合える「**遠隔神経衰弱ゲーム**」「**みんなで文づくりゲーム**」などで、子どもたちと共に活動を楽しみましょう。

**3**

#### 単元の内容を考えるときは 思考を促す活動と問いかけ を位置付けましょう

教師は活動の中に「この短冊の文章は分かりやすいかな」「短冊の長さはこれで全部飾れるかな」「どれぐらいの重さの飾りなら枝につるしても大丈夫かな」といった期待できる教科の育ちを意識した活動や思考を促す教師の問いかけを位置付けましょう。その際、子どもが**個人の手順表**や**ヒントカード**などを手がかりに、**個別の学習スペース**でじっくり考えながら活動できるように支援しましょう。

**3**

**授**

#### 【活動のよさを伝え合う】

教師は**手紙**や「**ほめほめカード**」の使い方を示し、離れた場所で活動している子どもをつなぐ**仲介役**となり、互いの活動や成果物のよさを伝え合えるよう促します。あわせて、**相手に伝わりやすい文字や文章の書き方**についても学習する場面ともなります。

**3**

**授**

#### 【活動の成果を確認し合う】

子どもが活動でがんばったことや工夫したこと、学んだことなどを**付箋**に書けるようにしましょう。そして、**模造紙に貼り出し**、互いに書いた**内容を発表**する中で、個の思いや学びの手ごたえを全体で認め合えるようにしましょう。

**3**



楽しかったなあ。こういうこともできるようにになったよ。またやりたい！

生活単元学習の例で書かれているけれど、どの工夫も各教科等の学習や自立活動、総合的な学習の時間でも生かせそうだね。個々の子どもたちが「何ができるようになるか」という視点で目標を据え、ホワイトボードや付箋などを用いて自らの学びの手ごたえを実感できる支援を考えたいね。参考にしてね！

